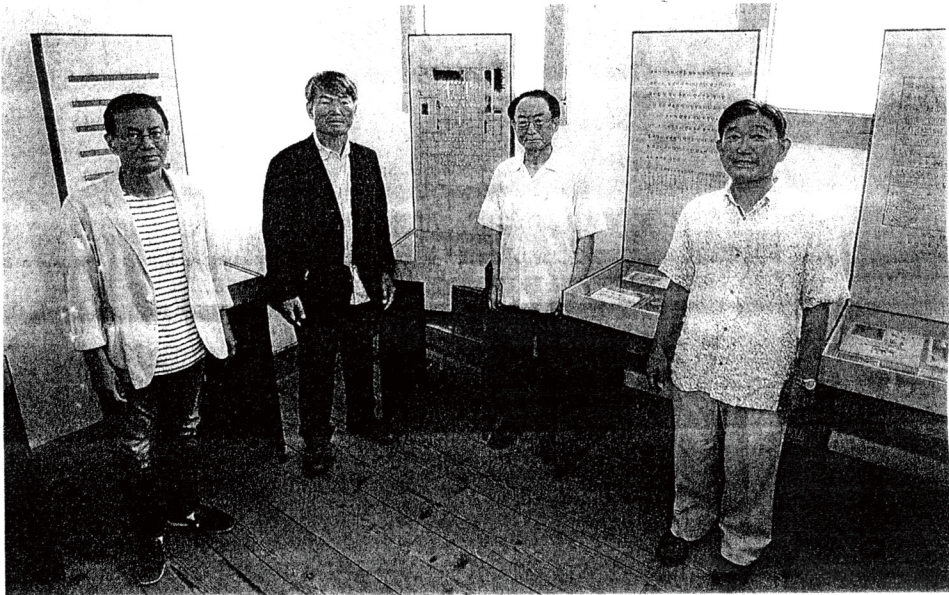


旧ソウル拘置所につくられた展示室を訪れた、李哲さん（左から2人目）や康宗憲さん（右端）ら在日韓国人の冤罪被害者（共同）



韓国「北朝鮮のスパイ」捏造

【ソウル共同】韓国では1

970〜80年代、1000人を超す在日韓国人が「北朝鮮スパイ」として摘発され、重刑を受けた。元被告の多くが冤罪だと訴え、ことし6月までに「拷問捜査で事件がでっち上げられた」として、再審

執行を待つ「未決囚」としてソウル拘置所に約3年半収監された。

証しを残してほしい」と願ってきたが、展示が実現し「こんな日が来るとは想像もできなかった」と感慨深げに話した。

朴正熙、全斗煥政権は独裁に反対する民主化運動を萎縮させるために捏造事件を量産

在日韓国人の被害後世へ

中国新聞
2016.8.19

で27人の無罪判決が確定している。

スパイ事件の捏造被害者を後

世に伝えようと、元被告らほぼ全員が一時収容された旧ソウル拘置所の獄舎に常設の資料展示室が完成。14日に展示が始まり、冤罪被害者

者と日本の支援者らが訪れ

「ここが在日が苦しめられた

拘束中、拷問に耐えかねて自殺を図り、父は心労で急死した。「拘置所の建物の赤れんがには私たちの叫びが染み

ついている」と話す李さん。

審請求を支援してきた金榮珍さん(50)は「在日が標的にされたのは、韓国内で支援され

ない弱い存在で、事件の捏造

旧ソウル拘置所に展示室

が容易だったからだ」と指摘する。

最大15人が収容された約10平方メートルの房が展示室として使われ、被害者が収容中にくつた歌詞や上告趣意書などが置かれた。旧拘置所は98年から、植民地時代の抵抗や民主化運動の記録を残す「西大門刑務所歴史館」として運用されている。朴慶穆館長は「歴史的事実は全て明らかにしなければならぬ」との思いで展示室を設けた」と話す。

死刑囚として約6年半収監された康宗憲さん(64)は「京都市、昨年再審無罪確定」は「展示室は、在日が祖国から冷遇される中で事件が起きたことを振り返り、祖国と在外同胞が互いに絆を確認する場になつてほしい」と語った。